

廃棄物運搬用パイプラインとは？

街の廃棄物（可燃ごみ）をパイプラインを通して環境処理センターまで運搬する施設です。

地区内の投入口から環境処理センターまでを直径50cmの輸送管で直結。環境処理センターのブロワによって輸送管内にごみ搬送用空気流を発生させ、投入設備に一時貯留されたごみを順次空気流に乗せて、環境処理センターまで運搬しています。運搬されたごみは分離機、貯留ドラム、排出コンベアを経て、焼却炉棟ゴミピットへ直接投棄。一方搬送用空気は防塵機、脱臭装置を経て、大気中に放出されます。

【パイプライン イメージ図】

